Panasonic®

取扱説明書

リヤビューカメラ

Strada

品番 CY-RC90KD

ご使用の前に、「安全上のご注意」を必ずお読みください。

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、大切に保管してください。

保証書付き

内容物の確認

万一、不備な点がございましたら、お買い上げの販売店へお申し付けください。

品　名	数量
リヤビューカメラ（コード 4 m）	1
防水ゴム	1
カメラブラケット	1
ワッシャー付きねじ（M3 × 6 ㎜）	2
六角レンチ	1
電源コード（5 m）	1
圧着式コネクター	1
コードクランパー	5
コードレール（18 cm）	3
束線バンド	2

■ 添付品

品　名	数量
取扱説明書（保証書付き）	1

- 寸法は、おおよその数値です。
  イラストはイメージであり、実際と異なる場合があります。
- 包装材料などは、商品を取り出したあと、地域・自治体の定めに従って、適切に廃棄やリサイクルの処理をしてください。

仕　様

項目	仕様
出力映像	広角鏡像（後方確認用）
使用電源	DC12 V マイナスアース
消費電力	0.4 W（約 30 mA）
撮像素子	1/3.6 型 カラー CMOS 素子
有効画素数	約 31 万画素
レンズ	広角　固定焦点 f=1.21 ㎜　F 値 1: 2.0
画角	水平：145 °　垂直：112 °
S / N 比	40 dB 以上（推奨照度にて）
水平解像度	400 TV 本（中心部）
照度範囲	約 1 lx ～ 100 000 lx
映像出力	NTSC VBS　1.0 Vp-p　75 Ω
外形寸法	幅 23 ㎜×高さ 23 ㎜×奥行き 22 ㎜（背面突起部を除く）、コード長さ 4 m
質量	約 85 g（コードを含む）

- 仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

製造番号（Serial No.）	

パナソニック株式会社
オートモーティブ＆インダストリアルシステムズ社

〒224-8520　横浜市都筑区池辺町4261番地

YEFM0600218　F0213-0

安全上のご注意 （必ずお守りください）

人への危害、財産への損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ **誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。**

警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
注意	「軽症を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容です。

■ **お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）**

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。

取り付けや配線をするとき

警告

本機はDC12 V⊖アース車専用です
DC24 V 車には使用できません。火災や故障の原因となります。

作業前に、必ずバッテリーの⊖端子を外す
外さずに作業をすると、ショートによる感電やけがの原因となります。

コード類は、運転を妨げないように引き回す
ステアリング･シフトレバー･ブレーキペダルなどに巻き付くと、交通事故の原因となります。

説明書に従って、取り付けや配線をする
作業は手順通りに正しく行ってください。火災や故障の原因となります。

作業後は、車の電装品※の動作確認をする
正常に動作しないと、火災や感電、交通事故の原因となります。
※ブレーキ、ライト、ホーン、ハザード、ウィンカーなど

分解禁止

分解や改造をしない
特に、コードの被覆を切って他の機器の電源を取るのは、絶対におやめください。
交通事故や火災、感電、故障の原因となります。

取り付けやアース配線に、車の保安部品※を使わない
制動不能や発火、交通事故の原因となります。
※ステアリング、ブレーキ系統、タンクなどのボルトやナット

ねじなどの小物部品は、乳幼児の手の届くところに置かない
誤って、飲み込むおそれがあります。
万一飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

取り付けや配線をするとき

⚠ 注意

取り付け（取り外し）や配線は、専門技術者に依頼する
誤った取り付けや配線をした場合、車に支障をきたすことがありますので、お買い上げの販売店にご依頼ください。

必ず、付属品や指定の部品を使用する
機器の損傷や確実に固定できず、事故や故障、火災の原因となります。

取り付け場所の汚れ（ごみ・ほこり・油）などを取り除き、しっかり取り付ける
走行中に外れ、交通事故やけがの原因となります。
ときどき取り付け状態（接着やねじのゆるみなど）を点検してください。

コードを破損しない
断線やショートによる火災や感電、故障の原因となります。
傷の部分からカメラ内部に湿気や水が吸い込まれ、火災や感電、故障の原因となります

- 傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、重いものを載せる、熱器具へ近づける、車の金属部や高温部に接触させるなどしない。
- 車体やねじ・可動部（シートレールなど）へ挟み込まないように、引き回す。
- ドライバーなどの先で押し込まない。

ご使用になるとき

⚠ 警告

目視による安全確認をする
モニター画面だけでなく、必ず目視による安全確認をしながら、ゆっくり後退してください。
カメラの死角になっている人や物にぶつかる恐れがあり、交通事故の原因となります。

ヒューズは、必ず規定容量品を使用し、交換は専門技術者に依頼する
規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。

故障や異常な状態のまま使用しない
画像が映らない、異物が入った、水がかかった、煙が出る、異音・異臭がする場合は、ただちに使用を中止してください。
事故や火災、感電の原因となります。

ご使用になるとき

⚠ 注意

本機を車載用以外には、使用しない
発煙や発火、感電、けがの原因となります。

自動洗車機（高圧水）による洗車をしない
カメラ内部に水が入ると、火災や感電、故障の原因となります。
また、脱落による事故の原因となります。

異常発生時やお問い合わせは

まず、お買い上げの販売店、またはお近くの「サービスご相談窓口」にご相談ください。

- お客様による修理は、絶対におやめください。

使用上のお願い

携帯電話を使用する場合は

- 電話の位置や向きにより、カメラ映像にノイズが出ることがあります。その場合は、本機から離してください。

免責事項について

- 火災、地震、第三者による行為、その他の事故、取り付けの不備、お客様の故意または過失、誤用、異常な条件下での使用により故障および損傷が生じた場合、補償はできません。
- 本機を業務用のバスやトラック、タクシー、商用車などに使用した場合の保証はできません。

ご使用の前に

- 本機は鏡像タイプの（バックミラーやサイドミラーと同様に映す）後方確認用カメラです。
- 本機はドライバーの後方視界を補助するためのもので、全ての危険および障害物をカメラで映し出せるものではありません。
- 本機は広角レンズを使用しておりますので、近いところは広く、遠いところは狭く映り、実際の距離感とは異なる場合があります。

本製品は RCA タイプの映像入力付きのモニターなどに接続可能です。シフトレバーをリバース（R）に入れたときの連動機能（カメラ映像の割込み表示）とスケール表示は、接続する機器での対応となりますので、動作の保証はいたしかねます。ご了承ください。
接続する機器の説明書に従って、カメラの設定 (画質調整等) を行ってください。

コードの引き回し（例）

- 雨水などが浸入しないようにカメラのコードを引き込んでください。
- ドアの開閉でコードが引っ張られないように、コードを余分にたるませて引き回してください。

取り付ける前に

- 設置面の汚れ（ごみ、油など）をきれいに拭きとり、湿気を乾かしてください。

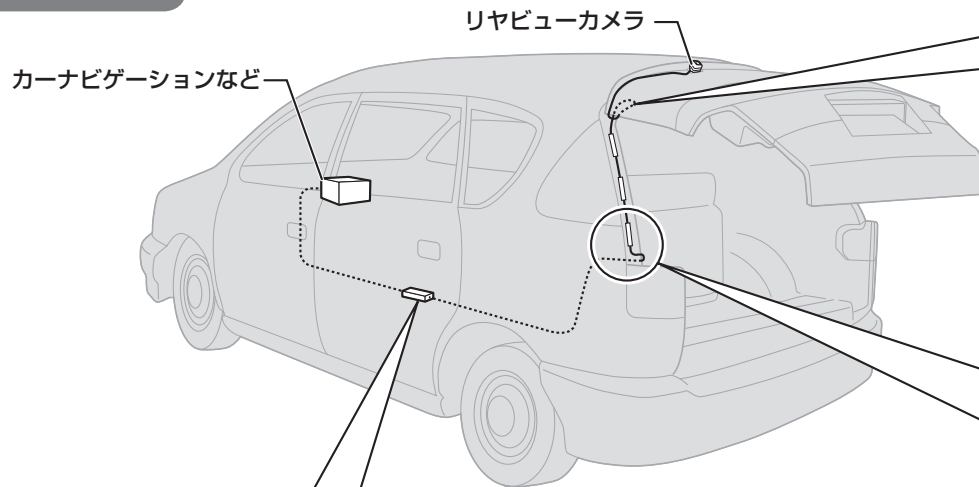
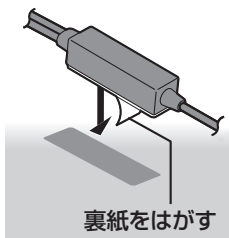
1BOXタイプ

リヤビューカメラ

カーナビゲーションなど

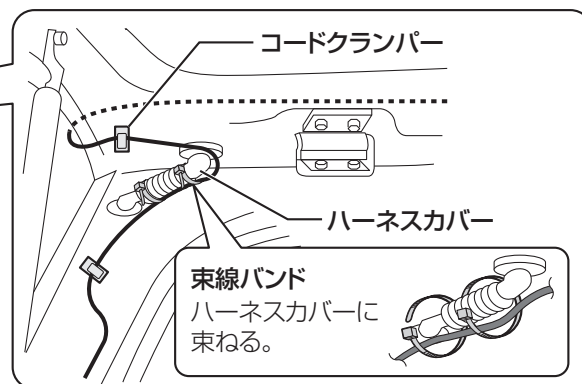
コードクランパー

ハーネスカバー

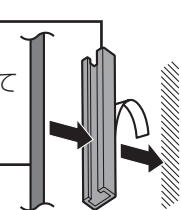
束線バンド
ハーネスカバーに束ねる。

固定のしかた

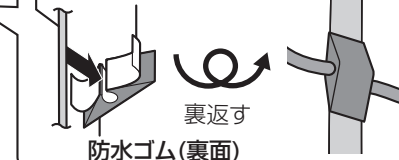
裏紙をはがす

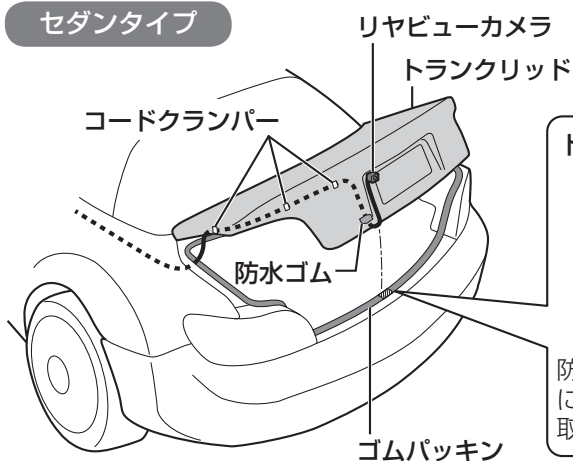
お願い

以下のところには、取り付けないでください。
- 水のかかるところ
- ヒーターのダクトや発熱する物の近く
- 足で踏まれるところ
- 直射日光のあたるところ
- ほこりの多いところ
- カーペットの下など熱がこもるところ

コードの固定のしかた

コードレール
(裏紙をはがす)
適当な大きさに切ってご使用ください。

リヤビューカメラのコード

- **国土交通省の定める保安基準※に適合させるため、コードクランパーは車内に取り付けてください。**

リヤビューカメラのコード
裏紙をはがす。
裏返す
防水ゴム(裏面)

※ 道路運送車両の保安基準　第18条「車枠及び車体」
　細目告示　第1節　別添20「外装の技術基準」

セダンタイプ

お願い

- バックドアやトランクリッドをゆっくり開閉し、カメラのコードがバックドアの縁に挟まれて、こすれていないか十分に確認してください。傷の部分からカメラ内部に湿気や水が吸い込まれることがあります。
- カメラのコードはアンテナコードからできるだけ離して引き回してください。
（テレビ、ラジオの音声に雑音が入ることがあります。）
- AM ラジオ放送に雑音が入るときは、車両のワイヤーハーネスからカメラのコードを離してください。

リヤビューカメラの取り付けかた

取り付け位置について

2009 年 1 月 1 日以降に製作された乗車定員 10 人未満の乗用車に車載カメラ等の外装品を取り付ける際、国土交通省公布の「外装の技術基準※」に準拠した取り付けが必要となります。
取付位置に一部制限が発生する場合がありますので、ご注意ください。

外装の技術基準※（抜粋）

自動車の外部には、衝突時又は接触時に歩行者に傷害を与えるおそれのある形状、寸法、方向又は硬さを有するいかなる突起も有してはならない。

対象車種

2009年1月1日以降に製作·登録された乗用車。（乗車定員 10 人未満の、専ら常用の用に供する自動車）

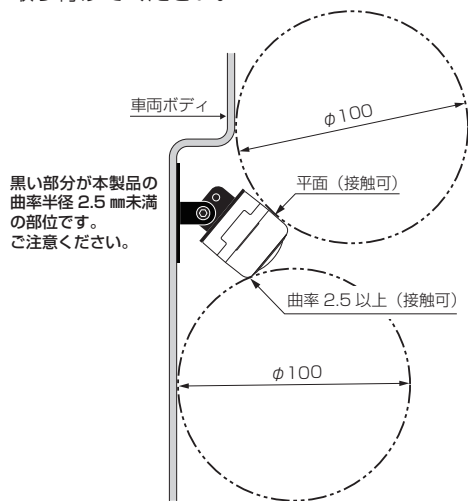
※ 法規について、詳しくは国土交通省のホームページをご参照ください。

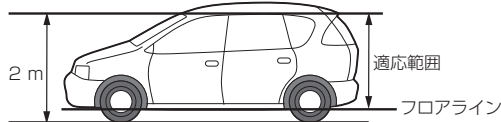
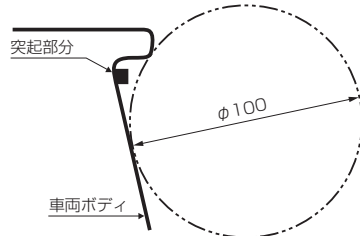
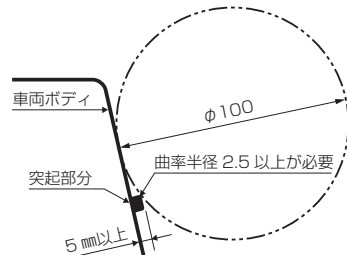
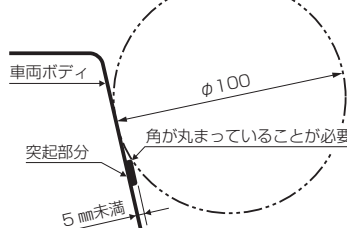
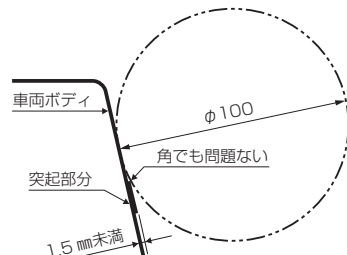
国土交通省　ホームページ

http://www.mlit.go.jp/index.html

取付推奨位置（例）

ナンバープレート周辺など車両の凹部

- ナンバープレートの視認性を妨げない場所に取り付けてください。

適応外となる部位

- 高さ２ ｍ以上の部分
- フロアラインより下の部分

- 直径 100 ㎜の球体が接触しない部分

- 曲率半径が 2.5 ㎜以上となっている部分

- 突出量が５ ㎜未満で突起の外向き端部に丸みが付いている部分

- 突出量が 1.5 ㎜未満の部分

- 突起の硬さが 60 ショア (A) 相当以下となっている部分

取り付ける前に

- 内容物をご確認ください。
- 設置面の汚れ (ごみ、油など) をきれいに拭きとり、湿気を乾かしてください。
- 取り付けや配線の作業時には、安全のため必ず手袋を使用してください。

あらかじめ仮接続・仮止めして、取り付ける位置を決めてください。
貼りなおさないでください。

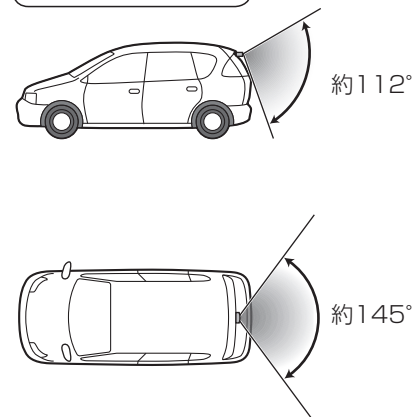
- 必要な範囲が見える取り付け位置を確認してください。
- カメラが車体やリヤワイパーにあたらないように取り付けてください。
- カメラは車幅に対してできるだけ中央付近に取り付けてください。

■しっかりと取り付けるために

- 気温が低いとき (20℃以下) は、ドライヤーなどで接着面を温めてください。
- 接着面が完全に乾いた状態で作業を行ってください。接着不良などによるはがれの原因となります。
- 取り付けたあと、24 時間以内は雨にぬらしたり、水をかけたり、引っ張ったり、無理な力を加えたりしないでください。

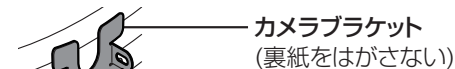
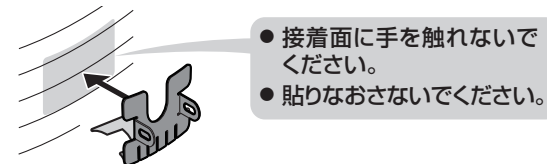
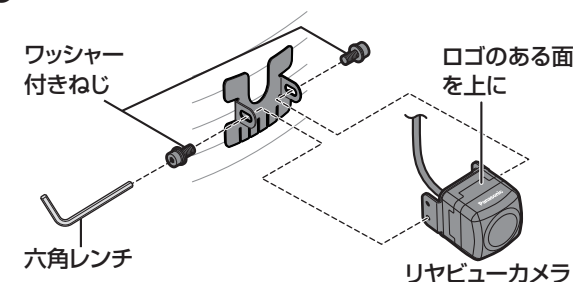
お知らせ

- フッ素樹脂処理された (水滴や泥水などをはじく) 塗装面やガラス面、再塗装された面には貼り付けられません。

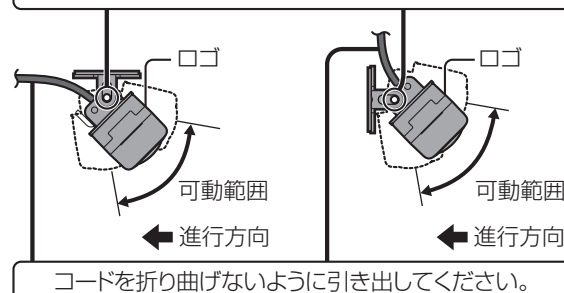
カメラの視野範囲

❶ カメラブラケットを車体のガラス面または塗装面に取り付ける。

①取り付ける面に合うように整形する。

②裏紙をはがしてしっかり密着させる。

- 接着面に手を触れないでください。
- 貼りなおさないでください。

❷ カメラ本体を、カメラブラケットに取り付ける。

取り付ける位置により、使用するねじ穴およびコードを引き出す方向が異なります。

角度を調整しやすい側のねじ穴に取り付けてください。

コードを折り曲げないように引き出してください。

❸ バンパーまたは車両後端部がモニターの下端に映るようにカメラの角度を調整する。

六角レンチでねじをゆるめて、カメラの角度を調整する。（調整後、しっかりと締める）

バンパーまたは車両後端部

配線のしかた

パナソニック製カーナビゲーションなどと接続することで、シフトレバーをリバース（R）に入れると、カメラの映像を自動的に画面に表示できます。

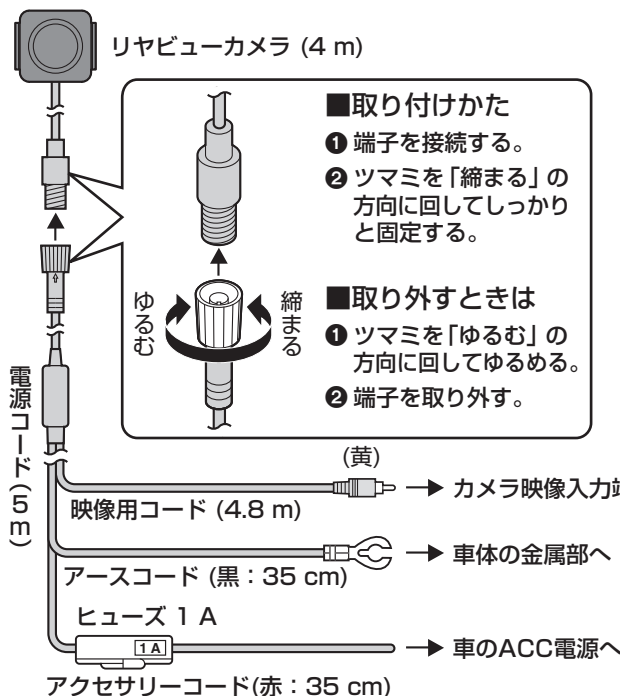
- 接続する機器の説明書に従って配線し、設定・操作してください。
- 車種や組み合わせる機器によって、別売のコードが必要な場合や接続できない場合があります。お買い上げの販売店、またはお近くの「サービスご相談窓口」にご相談ください。
- 他社製品との接続に関しては、お使いの機器メーカーの相談窓口にお問い合わせください。

配線が終了したら、必ずカメラの設定を行ってください。詳しくは、接続する機器の説明書をご覧ください。

■作業の順序

❶ バッテリーの ⊖ 端子をはずす。

❷ 各種コードを配線する。

●ショート事故防止のため、電源コードのコネクターは、必ず全ての配線をすませてから接続してください。

❸ リヤビューカメラを取り付ける。

❹ バッテリーの ⊖ 端子を、もとに戻す。

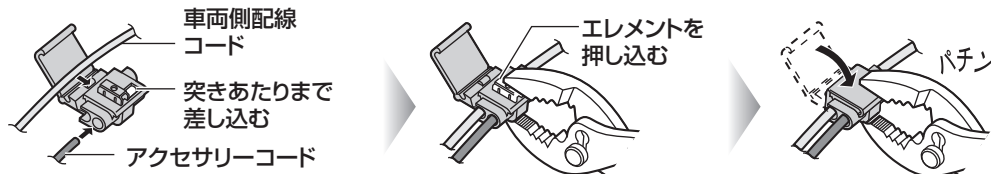
お願い

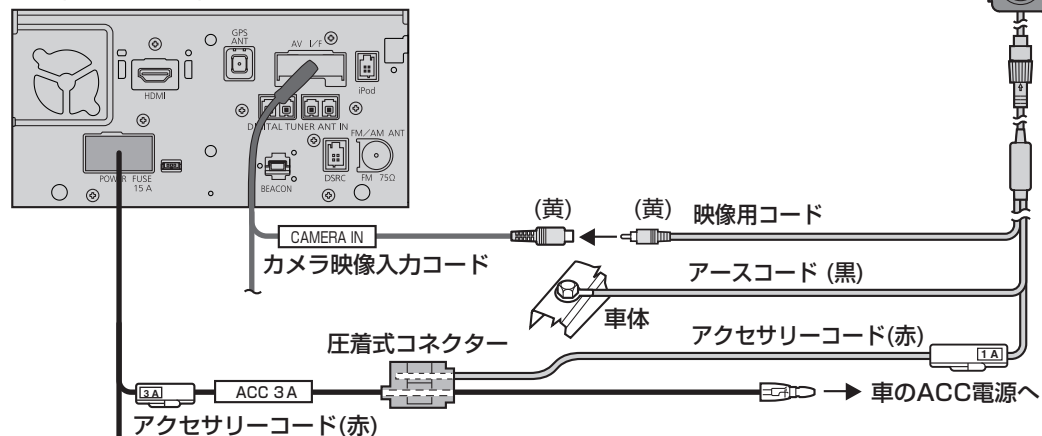
- コネクターは確実に差し込んでください。また、着脱時にはコードを引っ張らないでください。
- 映像用コードやカメラのコードは、改造による延長はしないでください。画面にノイズが出たり故障の原因となります。
- 圧着式コネクターは、指定の箇所以外に使用しないでください。
- ヒューズが切れた場合は、お買い上げの販売店またはお近くの「サービスご相談窓口」に、ヒューズの交換を依頼してください。

塗装などが施されていない、金属地が露出している箇所に接続してください。

エンジンスイッチにACCポジションがない場合は、バッテリー上がりの原因となるため、お買い上げの販売店にご相談ください。

■圧着式コネクターの取り付けかた

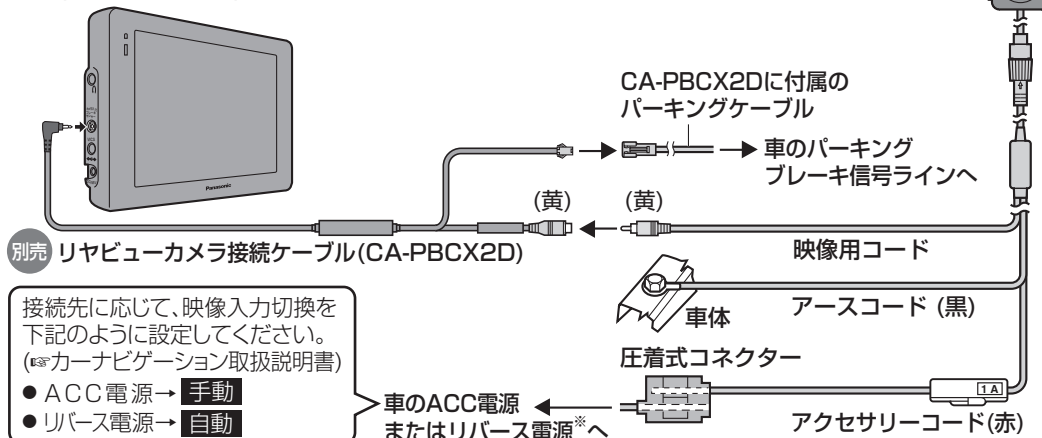
コード芯線直径適合範囲：φ0.64 ～φ1.2

別売 カーナビゲーションとの接続（例:CN-R500D）

必ずカメラの設定を行ってください。（☞ カーナビゲーション取扱説明書）

お知らせ

- 下記のカーナビゲーションと本機を接続するには、別売のリヤビューカメラ RCA 変換ケーブル (CA-LNRC10D) が必要です。

・CN-HDS710TD　・CN-HDS700TD/D　・CN-HDS635TD/D　・CN-HDS630D
・CN-HDS625TD/D　・CN-HDS620D
（2013 年 6 月現在）

別売 ポータブルカーナビゲーションとの接続（例:CN-GP720VD）

適合機種（2013 年 6 月現在）　・CN-GP720VD　・CN-SP720VD
本機を接続するには、別売のリヤビューカメラ接続ケーブル (CA-PBCX2D) が必要です。

※ 車のシフトレバーをリバース(R)に入れたときに点灯するバックランプのプラス線に接続する。

故障かな!?

症　状	原　因　と　処　置
カメラ映像が映らない	● *各コードの接続をご確認ください。* ● 接続している機器の設定を確認してください。 ● *本機、または接続した機器のヒューズが切れている。* *→お買い上げの販売店にご相談ください。*
映像が不鮮明	● カメラに泥やほこりがついている。 →レンズの汚れを拭いてください。
画面に白線(光の縦線)が出る	● 太陽光を直接映したり、強い光（バンパーからの反射やヘッドライトなど）が入射している。 →光源の上下に明るい縦線が現れることがあります。 （故障ではありません）
画面がちらつく	● 蛍光灯などで照らされた場所を映している。 →画面がちらつくことがあります。 （故障ではありません）
画面が見えにくい	● 暗いところを映している。 ● 部分的に明るい光を映している。 ● カメラが高温になっている。 →画面が見えにくくなることがあります。 （故障ではありません）

● *斜体*の項目の確認には、専門の技術と経験が必要です。
安全のため、お買い上げの販売店にご相談ください。

本機のお手入れ

● ベンジンやシンナー類、マニキュア除去液、アルコール類などは使用しないでください。
（ケースや塗装が変質するおそれがあります）

● 磨き粉などが配合された洗剤で拭かないでください。
キズの原因となります。

● レンズ部が汚れている場合には、水を含ませた柔らかい布などで軽く拭いてください。
乾いた布で強くこするとキズの原因となります。